

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

58654

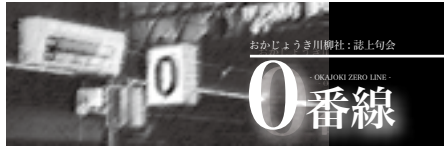


誌上句会 「0番線」

米山明日歌・Sin 選

2019

4



「等」 米山明日歌 選	4
Sin 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	8
会員雑詠集「無人駅」	13
■例月句会結果■	
おかげょうき川柳社 3月例会	25
十和田たてがみ川柳会 2月句会報	34
川柳吟行会 ぽ 守田啓子	32
■作品鑑賞■	
—奈良一艘がとことん深読む—	
「深艘心理」 奈良一艘	12
■連載エッセイ■	
リレーエッセイ「途中下車」 ひらく	24
Infomation	37～

0番線

選 歌 明日山米 「等」 題

【佳作】

不等辺三角形な支え方
ハズキルーペ等身大に戻れない
不等辺三角形は情緒的
究極の等は君が代かも知れぬ
鳥葬などと ミルクに浸す鳩サブレ
鯨一頭浜で均等割りにする
付度の在庫があると輪転機
二等分してもクレーム出すあんこ
「んだ、んだ」のプロンプターの訛り癖
五人いて六等分で暮らしてる
子供等と等々等々等々雪あそび
原発をどこに置いて不等号
目覚めると我等から等が消えている
また君は二等辺三角形に入る
バランスをとらなきゃ息を潜めなきゃ
僕等とか私等だとか言わないで

青森県 熊谷冬鼓
青森県 まきこ
奈良県 ひとり静
新潟県 夏井せいじ
石川県 松谷早苗
岡山県 木下草風
東京都 星出冬馬
愛媛県 郷田みや
青森県 千葉風樹
愛知県 松長一步
愛媛県 山内房子
青森県 滋野さち
愛知県 丸山 進
岡山県 しばたかずみ
青森県 まみどり
愛媛県 土居新山

不等式の左は空で右は海

鳥取県 平尾正人

一斉に飛び立つ揺れるもの落ちるもの
いいんだよ僕等のジュリーなんでもの

青森県 守田啓子
愛媛県 土居新山

ボクはから僕等へラプラス変換

徳島県 徳長 伶

【秀逸】

色々な痛みを使う追いがつお
不等式作り笑いをしてみせる
ぐずぐずにおんな宛名のない手紙

愛知県 安藤なみ
福島県 中野敦子
青森県 吉田州花

【特選】

懶鳥脚 君は正しく生きなさい

新潟県 星井五郎

特選 等という字が、回転するたびに、情景を変えてせまってきた。そして、そんな君を遠くから、見守っている眼差しも感じられた。秀逸3 ぐずぐずな女には、等が沢山ある。宛名のない手紙で、その女が、どれだけぐ

選評 米山明日歌

ぐずぐずがわかる。諦めなよ。と書いてあげたい。秀逸2 どんな不等式であつたのか男く女では、ありきたりか・秀逸1 痛みを使う追いがつおとは。想像は限りなく拡がった。

0 番線

-OKAJOKIZEROLINE-

選「等」題

【佳作】

オナガザルには何等落度はありません
 フランケンシュタインららら結露らら
 目覚めると我等から等が消えている
 等圧線きょうはあなたと結びます
 平等に発光できなあかん子ら
 仕上げには虹を等しく混ぜておく
 等間隔な嘘を夜空に散りばめる
 均等に割る満月の右部分
 特等席きのうと違うオリオン座
 バランスをとらなきや息を潜めなきや
 イヌフグリ等しくなんかないのね
 父はいつも冬の等圧線だった
 一斉に飛び立つ揺れるもの落ちるもの
 里芋の何処を切つても永平寺
 兄ちゃんの方が大きい半分っこ
 オペラ座で植木等が経を読む

青森県 鳴海賢治
 愛媛県 中西科
 愛知県 丸山進
 愛媛県 山内もところ
 大阪府 久保田清美
 岡山県 永見心咲
 青森県 木村美映
 青森県 土田雅子
 愛媛県 郷田みや
 青森県 まみどり
 石川県 松谷早苗
 愛媛県 高畑俊正
 青森県 守田啓子
 京都府 岩根彰子
 秋田県 田久保亜蘭
 愛知県 松長一步

子等の字のアもマもソもンもパステル
 対等でありたい玄関マットの逆襲
 不等辺三角形な支え方
 ああそんなじつと見ないで七等分

愛知県 青砥和子
 秋田県 一帆
 青森県 熊谷冬鼓
 愛知県 中川喜代子

【秀逸】

ポケットに等身大の樹木希林
 雑用のあれやこれやを食べこぼす
 色々な痛みを使う追いがつお

愛媛県 田中なお
 青森県 熊谷冬鼓
 愛知県 安藤なみ

また君は二等辺三角形に入る

岡山県 しばたかずみ

【特選】

また君は二等辺三角形に入る

現代は、ひきこもり100万人時代と言われている。「ひきこもり」と言うと、若い世代をイメージしがちだが、内閣府の最新の調査結果では、40歳以上の

選評

ひきこもりが若年層を初めて上回った。そんな世の中である。
 特選句の「君」は正三角形に入っているつもりのはずである。だが、社会から見た形は二等辺三角形であり、「君」の側から見れば、社会が二等辺三角形に見えている。そんなパラドックス

Sin

クスのような世界観が、シンプルな作品故に際立って見えてくる。
 特選は、「色々な痛みを使う追いがつお」と迷った。発想は素晴らしかったが、「色々な」の部分「追いがつお」をもっと活かせる言葉への変化に伸びしろを感じたので、次点とした。

【0番線「等」：投句者 90名】石倉多美子・夏井せいじ・星野美根子・笹重耕三・木下草風・斉尾くにご・尾上宏・芝岡勲右衛門・上守田啓子・高橋せい子・高橋皇湖・ひらく・木村美映・中西科・山内房子・寺川弘一・常田チャコ・青野舞・佐野由利子・熊谷冬鼓・吉田吹喜・竹内知子・みつ木もも花・平尾正人・小山田英子・稲見則彦・岡山フジエ・星井五郎・星出冬馬・中川喜代子・田中なお・大内せつ子・まきこ・ひとり静・上嶋幸雀・石橋芳山・城後朱美・月波与生・青砥和子・土田雅子・小野善江・高橋こう子・千葉風樹・中野敦子・

村脩・土居新山・伊藤三十六・三宅保州・しばたかずみ・浅井ゆず・松谷早苗・嶺岸柳舟・加差野静浪・立岡詩織・蔦清五郎・吉田州花・夏草ふぶき・城水めぐみ・丸山進・三好光明・村上あつこ・柳田かおる・郷田みや・岩根彰子・吉松澄子・一帆・もりともみち・安藤なみ・永見心咲・山内もところ・森雄岳・能田勝利・まみどり・笹田かなえ・小川佳恵・徳長 怜・滋野さち・猫田千恵子・松長一步・吉原 美佐・西村寛子・前田ゆうこ・高畑俊正・久保田清美・田久保亜蘭・野邊富優葉・辻井洋子・千葉かほる・坂本清乃・鳴海賢治。(順不同)

カンテラ

おかじょうき川柳社代表

むさし

積雪ゼロと報道され「もう春だ!」と思っていたら、3月中旬なのに一晩で10センチほど積もり白一面の世界へ戻ってしまった。

ではあるが、春は確実に近づいている。

近づいていると言えば、川柳ステーション2019も一日一日確実に近づいている。

そして、わが社のスタッフは今年の川柳ステーションをどうしようかと相談し合っている。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

須藤しんのすけさんは、ルソーの絵が好きなのかな？
アンリ・ジュリアン・フェリックス・ルソーは、19世紀
〜20世紀フランスの素朴派の画家。20数年間、パリ市の
税関職員を務め、仕事の余暇に絵を描いていた「日曜画
家」だった。(ウィキペディアから) 私のデスクの前に
絵はがきを入れた額があります。数十年も架けられたま
まなので色あせが激しいのですが、まだ何が描かれてい
るか分かります。上の方には、背に羽の生えた女がラッ
パを持って飛んでいます。その下に黒服に黒帽の男が何
人もキャンバスを持って立っていて、その男達の真ん中
に雄ライオンが寝そべっています。この不思議な絵は、
ルソーの絵。ルソーの絵って、素朴を通り越してると思
うんだけど…。そんな絵に、しんのすけさんは「夏が来
る前に」溶けてしまうのですか…。??もしかしたら、
ライオンになっちゃう?

B群

友だちもできた鯨を見に行こう

月波与生

A群

- 憎しみが消えたら想い出も消えた
城後朱美
- 迷走せずにいられるものか喜寿間ちか
向山タエ子
- 居間にあるマグマ時々噴火する
村上あつこ
- 竹節虫はかさま座りだこがある
岩根彰子
- エンドロールに名前を刻む作業中
一帆
- 抒情とは何 地吹雪の通せんぼ
木村美映
- あははと笑いで拭いた泣きつ面
きさらぎ彼句音
- 幸せだった場所を時々見に戻る
斎藤泰子
- ちゆるちゆるつさびしいんだねちれ麵
守田啓子
- ゴーギャンの絵の中に行く今夜の便
辻井洋子
- 夏が来る前にルソーの絵に溶ける
須藤しんのすけ

- W i - F i を見つけちょっぴり暖を取る
夏草ふぶき
- 軒下の雨漏り児童相談所
鳴海賢治
- 答えFに従いここで化けて出る
まきこ
- Aーは愛と読まねばなりません
松木 秀
- なんかもんくあつかとおにぎり買っし
松谷早苗
- ピストルもナイフも抱いて遠い砂山
葉 閑女
- 月に穴あけてしまった指の銃
米山明日歌
- まず先にプレビュー画面出しなさい
土田雅子
- 雪まるげ百引く七が続かない
熊谷冬鼓

熊谷冬鼓さん、一見不思議な句ですね。「雪まるげ」は広辞苑によると「雪丸げ」のことで、「雪転(まる)ばし」と同じ。つまり、雪をころがし丸めて塊にすること。「百引く七」は93だ。と、ここまでは分かるんだけど「雪まるげ百引く七が続かない」になると分からなくなってしまう。ということ、 「百引く七」をインターネット検索。そうしたら意外なものがヒットした。「100から7を順番に引いて下さい」っていう認知症チェックテスト

トがあるのだ。これだね！脳の運動にもなるらしい。冬鼓さんは、「雪まろげ」を作りながら脳みそを鍛えていたんだ。

Ｃ群

海月ならまだしも泳いでも海鼠

石橋芳山

ちいさんのミディアムレアを舂めんよ

奈良一艘

こんなとこまでやってくるのはうどん

ひとり静

鼻デカのポルシェがいまもナイル河

田久保亜蘭

石橋芳山さん、ナマコよりクラゲがいいの？そりゃそうだよね…。私だって、「クラゲになるかナマコになるか」と強要されたら「クラゲにしてください」って言うもん。山形県にギネスブックにも載っているという世界一のクラゲ水族館があつて、鶴岡市立加茂水族館って言うんだけど…。この展示はクラゲが中心。「クラゲドリム館」という愛称まであるくらいで、3千匹のクラゲが泳いでいる巨大水槽「クラネタリウム」ってのまで

ひとり静さん、「うどん」が好きなのですか？そう言えば「うどん県」つてあつたよな…。そうだ、香川県だ。でも、ひとり静さんは奈良県のひと。ということは、この句はうどん県とは直接関係ないんだ。で…。初めっから考え直す…。この句は「こんなとこまで」つて「うどん」のことを書いているんだから、蕎麦がやって来ないところにいるつてことだ…。どんなところだろう。つまり、どこまでも行ってしまうのはラーメンでも蕎麦でもなく「うどん」だつてことだ。もつと言えば、蕎麦好きな人間よりうどん好きな人間が世界の意外なところにいるつてことだ。うどん強し！あ、私は、うどんも蕎麦もラーメンも好きです。ところで、こんな句を書くひとり静さんはうどんにあきれているんだろうか、それともしめしめと思っっているのだろうか…。

田久保亜蘭さん、ポルシェに乗ってんの？ポルシェって超高級スポーツカーだぜえ。腐ってもポルシェだぜ。まさか…。でも、亜蘭さんつて親分つて感じだから、も

ある。それに比べ、ナマコを中心に展示している水族館なんて聞いたことがない。漢字で書いてもクラゲは「海の月」で美しいけれど、ナマコは「海の鼠」で薄汚い感じ。うう…。ナマコつて泳げないんだよね。でも、芳山さんが泳げば「泳ぐナマコ」にしか見えないうつてことだ。芳山さん、しよげなくつていいよ。ナマコは美味なんだから…(笑)

奈良一艘さん、「ちいさん」つてなんなの？老年の男は「爺さん」でひらがなで書くと「じいさん」だ。もしかしたら、ヤマイだれに寺つて書く方かな？あれも本当は「じ」だけど何となく「ち」が似合いそうで、それだったら、ミディアムレアでもレアでも舂められたもんじゃない。てえことじゃないんだよね…。男は老化して死にかけていても意地があるつてことだね。で、一艘さん、痔かな…(汗)「ちいさん」つて呼ばれたときの一艘さんの顔が見たくなった。

しかししたら全然似合わないのに無理して乗つてたりしてね…(汗)だとしたら、ボクスターかな？「ポルシェ」はドイツの自動車メーカー、正式名称は「ポルシェ・フェルディナント」・ポルシェ名誉工學博士株式会社とつう。スポーツカー「911」、あれいいよね。で、ポルシェの作る車はロング・ノーズ。ロング・ノーズと言えば新幹線の列車を思い出すけど、関係ないね…(汗)つまり、ポルシェは「鼻デカ」、ここまでは分かつた。でも、次がいけない。「いまもナイル河」つて、何だ！？ナイル河は世界で一番長い川だぞ…。もしかしたら、ポルシェが世界一の車だつてこと？たぶん違ふだろうなあ。ああ、分かんない。亜蘭さんの頭の中みたいで、全然見えて来ない…(汗)でも、気になるなあ。(シダバタ)

深艘心理

ぼった目 Light and Darkness and Darkness

柳本々々

(おかしょうき無人駅2月号より)

If you doubt, crow black and moth red

疑えばカラスの黒と薔薇の赤 Jecceca Heart

(フェイスブック3/15投稿分より)

前句は一部を英語表記に、後句は全部を英語表記と日本語表記を並列してある。

後句の Jecceca Heart さんはある高名な日本人の川柳作家だが訳あって英語名と日本語名の柳号とを使い分けているらしい。

川柳を英語表記にすればこうなる。つまりは川柳の英訳を試みている。

Old pond / Flogs jumped in / sound of water.

(古池や / 蛙飛び込む / 水の音) 松尾芭蕉

のように今や世界最短の定型詩としての俳句が英訳されて世界に発信されている時代に川柳も世界に向けて発信しなければという作者の姿勢に大いなる拍手を送りたい。

が、さて問題は前句の一部英語表記である。掲句の直訳は「光と闇と闇」なのだが、川柳的に英訳するとすれば「光と闇と暗闇と」辺りになるのではないだろうか。

バツタの目はご存知のように人間と違って複眼。複眼は個眼と呼ばれる細かなレンズの集合体であり、いわば光ファイバーの集合体を無数に束ねたような構造なのだそう。こうした昆虫の持つ複眼には人が見ることのできない「不可視光」を見ることができるといふ。

掲句の「ぼった」は勿論作者そのものであり、作者には希望としての光と、同時に不可視光である闇と暗闇が見えているのだ。そこには人間の条理と不条理な世の中への嘆きが私には深く感じられる。

英語表記の是非を問うものではないが darkness and darkness の闇と暗闇の細かなニュアンスの違いが読者にきちんと伝わるかどうかはもう少し考える余地がありそうだ。

短詩系文学川柳の大きな可能性に期待している。

おかしょうき川柳社会員雑詠集

無人駅

★無人駅3月月間賞

三月が甘納豆を探してる

葉 閑女

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

かじかんだ心につける生姜味噌
順序なんてパサージュ広場なんだから
こんな日も津軽海峡冬景色
ちゆるちゆるつさびしいんだねちぢれ麵
アウガラビナに挟まっている歯石

先月号のお気に入り
やり直しでできるだろうか雪一面　まみどり
かならず雪はとけます。春は来ます。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ベストセラー妻のトリセツ雪しとど
卒婚という大波にどう乗るか
来し方と座りつづける化粧屋根裏
ギザギザに切つて紡いでこころを唄う
セロひきのゴーシュと流れ三月へ

先月号のお気に入り
喜怒哀楽さてどの辺を語ろうか　夏井せいじ
楽のあたりのお話なら朝まででも

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

君の名をつけた裸木に朝が来た
オベロンが中間色で歌いだす
藤村の恋文さがす昼休み
ピストルもナイフも抱いて遠い砂山
歯医者にはあるが眼科にない取っ手

先月号のお気に入り
誰か来て弱音吐くから受け止めて　辻井洋子
はーい、教室で待ってますよ。

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

宇宙から降り立ったらしいね　なんか
ぼたぼたぼた星が泣いているのです
ごめんなさいという眼をして　とりあえず
てららら〜ん　内面はこの通り凍りつく
ここにきて逆再生のはじまりはじまり

先月号のお気に入り
神様のバケツに水が一杯だ　松木秀
それってそれって　どういうこと？不安だわ〜

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

夕焼けにつっこむ人とたたむ人
月に穴あけてしまった指の銃
云いたくてしょうがないのにモジリアニ
わたくしがタンポポだったころの歌
掴んだら鬼になるので擦るだけ

先月号のお気に入り
これからは黒鍵だけで足りるのよ　ひとり静
わたしは、ドの音とフの音くらいで、いきたいと思いま
した。

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

海月ならまだしも泳いでも海鼠
肛門と口からイージスとアシヨア
日章旗振りに2月22日
フィンガーボールの痴漢はホンマモン
座標軸曲がってアラゴの円盤

先月号のお気に入り

安藤なみ【あんだうなみ・愛知県瀬戸市】

ヤドカリも正座して見るスーパームーン
蹴ったのは歯の塊のような石
ヤケクソのような名前が出てこない
琴の音は流れて北の焼き肉屋
蛸の子が混じる蛍烏賊の群れ

先月号のお気に入り
心臓の出入り口で待ち合せ　田久保亜蘭
心臓には内緒とこういって。

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

エンドロールに名前を刻む作業中
目標を定めていてもよわきもの
静寂の中で見つけた同じ耳
本日は二足の靴を捨てました
幕引きに全ての機微を集めおり

先月号のお気に入り
隅っこで出口ばかりを気にしてる　熊谷冬鼓
残り時間も少ないのでさっさと出たいけど

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

竹節虫はかかさま座りだこがある
チョコレート三枚腰に一町回り
爺ちゃんの眉毛備長炭のかさこそ
海老ワントン赤いランタン今日だいい
答弁はネクタイ色でのほほんと

先月号のお気に入り
子音だけ残して舌の淋しがり
吟味された言葉遊び。 米山明日歌

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

お花見は忘れた頃にやつて来る
雨の夜遊女小春とすれちがう
陽炎に足をとられる逃避行
花曇り私の帽子の前身です
春画つてどうしてあんなキレイなの

先月号のお気に入り

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

Pチケット上げる穴という穴の
水底のいろはが芽吹く陽が欲しい
ナビ任せで生き味覚音痴になる
あはははと笑いで拭いた泣きつ面
もう涙跡 まだ涙跡

先月号のお気に入り
「幸福の意味」それもお金で買っちゃおう
思考停止したバカッターならそう言っかもね Sin

木村美映【きむらびえい・青森県青森市】

アカシックレコードの針が飛びました
蟄居閉門 火気厳禁に願います
氷点をこえて鎮まる腹の虫
四角四面に取り残されて冬木立
抒情とは何 地吹雪の通せんぼ

先月号のお気に入り

工藤比呂美【くどうひろみ・青森県外ヶ浜町】

信じたいたとえ心が傷ついても
今の自分に満足せずに羽化します
にわたりの空中飛行 積もる 夢
俺書いた にじんだインク覚てる
夢見てたこたつ一つの六畳間

先月号のお気に入り

熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

雪まろげ百引く七が続かない
行間の小骨いつしか雨模様
マーカを引いたとこから発芽する
ひび割れに大根おろし添えてやる
ややこしいことはさておき玉子割る

先月号のお気に入り
子音だけ残して舌の淋しがり
米山明日歌
子音だけ残すの表現に魅せられました

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

幸せだった場所を時々見に戻る
癒えようとしないう春をも待つてない
「はい」と答えて風向きをぐいと押す
百人に百の老い方沈み方
家具も絵もすこしずらして春の場所

先月号のお気に入り
元日にじゃぶじゃぶ洗う化けの皮 まぎこ
剥がされた化けの皮を洗って今年もまた使っんですね。
そういう人に私はならない。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

侃愕の句会のあとで冬籠り
泣きじゃくるイワシの群れが空仰ぐ
魚市場 眠りこけてるオオナマズ
ふた月の命をつなぐ年金日
雪の絵を蒲団の下に隠してる

先月号のお気に入り
なんのためのフェルメールブルーな嗚咽
「ブルーな嗚咽」に感じ入りました。 守田啓子

寫清五郎【しませいごろう・滋賀県米原市】

米余り銘柄飼料はてなはて
倒木にシイタケ生えて山桜
我が在所百一番目の旨い水
野鍛冶には鋤鋤補修茶碗酒
トコロテン改造までは頑張りや

先月号の
お気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

寄りそえなかつた男の骨拾う
納骨堂に入りたくないと言書
憎しみが消えたら想い出も消えた
今日からは誰のものでもない私
来世つてきつと素敵なパラダイス

先月号の
お気に入り

歯車が狂い始めてぶつ飛んだ 村上あつこ
この句はまるで私たち夫婦のようです。寄りそえぬまま、
形だけの夫婦でした。

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

掛け蕎麦の最初の客は二足獣
開いたらぎつくばらんなレオパレス
戦場のピアノからまだ還らない
受け継いだ物手放して黄河沖
鼻デカのポルシェがいまもナイル河

先月号の
お気に入り

忌々しいコタツに白々しいネコと Sin
忌々しい国会と白々しい晋三が未来の日本を語る事自体
が空虚である。ちゃんときい!!

月波与生【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

あのとときの雲をあの日のシャツで見る
友だちもできた鯨を見に行こう
飛行船見る浅い眠りから醒めて
恋人の海へマティスの舟で行く
ささくれが減ると桜が咲くんだな

先月号の
お気に入り

勃起したパンを包んで持ち帰る 夏草ふぶき
この発想はなかった。

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

パルクルルして水瓶座から消える
白髪と睫毛以外は置いて行く
夏が来る前にルソーの絵に溶ける
童貞の都市伝説にある魔法
お休みの夜は貧しいフリをする

先月号の
お気に入り

お赤飯明日降ろうと晴れようと 吉田州花
マイペースを守るのが難しい昨今、こんな生き方に憧れ
ます。それとお赤飯は甘いのが好きです。

高橋星湖【たかはしせいこ・青森県むつ市】

大雪に耐える私という根っこ
わがままを詰め込んでおくドロップ缶
花柄のハンカチだけが知る涙
良妻になる気など無い輪ゴム
ひとつずつ忘れ果てると軽くなる

先月号の
お気に入り

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

春なのにこのモヤモヤが邪魔をする
風呂敷をたたむ季節を模索中
「老害」とためいき避ける散歩道
毒薬をいい子いい子と撫でてやる
ゴーギャンの絵の中に行く今夜の便

先月号の
お気に入り

大丈夫この世あの世は地続きよ ひとり静
そうなんだあ。良かった!

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

まず先にレビュー画面出しなさい
きつかけはタンスのナフタリンでした
その気持ちスタンプひとつで示してよ
すれ違った途端の冷気魔女かしら
十年後の私にあげるありがとう

先月号の
お気に入り

平行線たまに交わるから困る 石橋芳山
交わったら交わったで戸惑ったものですね?

夏井せいじ

【なつせいせい・新潟県新潟市】

結論は黒い祭りという戦
ざわざわと五百羅漢に噂され
いつか死ぬのに気付かず生きている
ひとり笑い人の形になりたがる
うしろ姿だけ艶つやしてて恥ずかしい

先月号の
お気に入り

夏草ふぶぎ

【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

弾かれたように優しき降りてくる
睦言を交わすが如く弾くギター
WiFiを見つけちよっぴり暖を取る
切り落とせ嗚咽無視する大人の手
カラメルの甘さ苦手なフライパン

先月号の
お気に入り

一日中ぼんやりだった卵とじ
卵とじてぼんやりだもね。
熊谷冬鼓

奈良一艘

【ならいつそう・青森県弘前市】

真水塩水トリファルメタン味の素
ぢいさんのミディアムレアを舐めんよ
代々の血です少しいきります
ニンゲンの記号埋没バーコード
生きる音ですかへえ尻でしたか

先月号の
お気に入り

垂直にナイフを立てているブログ
自爆アロの一種。炎上型。うむ。
ひとり静

鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

統計調査で来ましたサルノコシカケ
本物になった偽物になった雲
洗剤の隣りのコップで水を汲む
けものみちの先端にテニスのボール
軒下の雨漏り児童相談所

先月号の
お気に入り

いやらしい生放送という言葉
同感
松木秀

ひとり静

【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

字余りのような尻尾がすとと伸び
負けそうな人は春待ち課へどうぞ
ご破算を重ね重ねてここに春
こんなとこまでやってくるのはうどん
甘そうにはじめましてが待っている

先月号の
お気に入り

手をあげたままで埴輪になりました
国会中継を見ていると、意見を言いたいんだけど、も
うぼかんと埴輪になるしかありません。
安藤なみ

ひらく

【ひらく・青森県蓬田村】

はっぴーと二百万色で描こう
タンバリン時計回りのイリュージョン
冬と春カオス的だと笑うのか
言い分けはあの日に帰りたいと言う
そだねーと熱爛そつと傾ける

先月号の
お気に入り

追い風を上手に食べてみたくなる
上手に食べる、がいいな。
夏井せいじ

まぎ

【まぎ・青森県青森市】

どんな色ですかあなたの笑顔って
ブラックリストおかめひよつとこ揃い踏み
答えFに従いここで化けて出る
引き分けはなかったはずの薔薇一輪
悪意なんてご飯粒にもなりません

先月号の
お気に入り

不要不急の元気は消しましょう
あれれ。電気じゃなかったの・・・了解。
小野五郎

松木秀

【まつきしゅう・北海道登別市】

次々とホワイトアウトしていった
そういえば三年もピザ食べてない
北欧のポルノに今もあこがれる
ハルシオンがぶ飲みをしてから酒だ
AIは愛と読まねばなりません

先月号の
お気に入り

銀行があつたところは今更地
つぶれたのか移転したのか撤退か…。
鳴海賢治

松谷早苗【まったにさなえ・石川県金沢市】

ほんとうは早熟すみれっぽいけれど
おはなが上手ね綿雲寄ってくる
ウエスト絞ると「横綱」っていうお菓子
なんかもんくあつかとおにぎり買うし
寒色だらけへ月の輪熊吠える

先月号のお気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

肉魚肉肉とつづきます
煮て焼いて炒めて鍋の機嫌とる
がつつりといきたいのです草食系
時々本物にするアルコール
浮かれては沈んで椅子の奪い合い

先月号のお気に入り
字あまりになるので今日はいえませんが
でもさ、言いたいときには言わなきゃね
米山明日歌

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

居間にあるマグマ時々噴火する
AIで丸裸になる私生活
戸を閉めて流れる僕を留めてくれ
消えそうで消えぬロウソクきつと母
ごちゃごちゃとネバネバ増えて蟻地獄

先月号のお気に入り
不要不急の元気は消しましょう
24時間元気印でいることはできない。ここぞの時のために元気も温存しておきましょう。
小野五郎

むさし【むさし・青森県蓬田村】

前例がなんだ雪ダルマは走る
地面師に狙われていた側頭部
なあ金魚明日はマグロになつてくれ
豚丼に春をこっそり振りかける
頭に生える十万本の無名の樹

先月号のお気に入り

向山夕エ子【むこうやまたえこ・青森県青森市】

迷走せずにいられるものか喜寿間ぢか
おマエだけが頼りと負荷をかけられる
負けん気でしがみついている冬の蠅
猪八戒はワタシの先祖なんだつてば
暴れまくって気が済んだかや雪嵐

先月号のお気に入り
憎しみがまだ足りなくてアルデンテ
どんな仕打ちを受けても憎みきれなかった昔の男を思い
だしました(笑)
きさらぎ彼句吾

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

私には無かったおんなの真昼
お豆腐と骨は真冬に恋をする
発酵は気づきだ人間だけしない
出来るとはジグソーピース埋める事
おんなの生意気男の生意気対角線

先月号のお気に入り

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階

【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時～14時半

【講師】おかじょうき川柳社 代表 むさし

【受講料】1回 500円

□ 5/14(火)「それから」 □ 5/28(火)「ドア」 □ 6/11(火)「昔」

□ /25(火)「レストラン」 □ 7/9(火)「指」 □ 7/23(火)「酒」

●投句先：〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3

むさし宛 / TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

ワッハッハと面白いテレビを寝転んで見ながら20分間、足の不自由な人の為の体操をしています。私は左膝が弱いからです。

その1 片方の足を床から10センチ上げたまま5秒、下ろして5秒を左右各20回ずつやりま

す。その2 体を横向きにして、上になった足を前の床に下ろし、その1と同じ事をし、向きを変えて同じ事を20回ずつやりま

す。その3 仰向けに寝て膝を立て、膝の間にボールを挟み、5秒間強く締め付け、5秒間力を弛めます。それも20回頑張りま

す。最後は椅子に腰かけて、左右の足を交互に前後に滑らせる事を30回です。これをほぼ毎日やっています。

スタートして半年経った頃、久しぶりに会った知人から私の歩きぶりが変わったと言われま

顔の無い

おかじょうき川柳社

3月例会句会

3月2日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(16名)

むさし・小野五郎・葉閑女・北野岸柳・守田啓子・まきこ・きざらぎ彼吾吾・坂本清乃・土田雅子・吉田吹喜・Sin・夏草ふぶぎ・木村美映・笹田隆志・柳谷たかお・熊谷冬鼓

▼投句者(12名)

米山明日歌・岩根彰子・石橋芳山・村上あつこ・田久保亜蘭・鳴海賢治・城後朱美・村井規子・まみどり・工藤比呂美・須藤しんのすけ・月波与生

リレーエッセイ 途中下車 乗客96. ひらく

「ベルトの穴をふたつ余す方法」

た。自分では全く気が付いていなかったのでびっくりしたものです。

そして一年経った頃にはベルトの穴がふたつ余ってしまったのです。因みに床から10センチは自分自身では確認出来ないのです、自分が10センチだと思ったらそれが10センチです。イツツイワールドですね。それでもちゃんと結果が生まれたから。そして夜中のトイレの回数が減り、よく眠れるようになったのは嬉しい限りです。

二年三ヶ月も過ぎたある日、何気なく見た鏡に、ちよつとだけシュツとした自分の顔がありました。体重も減ってきていたし、身が一つの袋だからなのかと、兎に角嬉しかったです。体重が減っても顔の皺はあまり増えていませんし、きつとこの体操のお陰に違いないと勝手に判断し、自己満足しています。

今、右手をグーにし、その拳に力を込め、これを次のベルトの穴へのファイティングポーズとします。長い道程のまだまだ途中です。

席題『咲く』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

いつ咲くのいつ咲くのとてウルサイナ… 吉田吹喜
 また一年泣いて笑って咲いてゆこ 吉田吹喜
 海のはな咲いてる僕ふる里だ 柳谷たかお
 福寿草咲いたらスイッチ切り替える 熊谷冬鼓
 矢沢語録「死に花くらい咲かせなきゃ」 木村美映
 桜前線介護難民異状なし 笹田隆志
 美しく清く正しく狂い咲く まきこ
 元号が変わればきつと僕も咲く 柳谷たかお
 なんと咲いても僕は牡丹になれなくて 坂本清乃

湿つてる北を吊るすと発芽する

国会の首が造花に見えて春

暗闇を叩くと次々咲く銀河

業たわわおんなでいたい嘘が咲く

北ばかり向いてひまわり咲いている

咀嚼した赤をしまっておく花瓶

【秀逸】

白鳥の汚れた白のように咲く S i n
 燃えさかる燃料棒を茶毘に付す 笹田隆志
 咲けますか 児童相談所の 桜 守田啓子

【特選】

散るのかな 右クリックが効きません 守田啓子

*「散るのかな」から「クリック」へ展開できるとは…。

席題『咲く』

青森県青森市 小野五郎選

【佳作】

雛祭りジイジもひよいと咲いてみる 葉 閑女
 曼珠沙華猫の額に咲かそうか 熊谷冬鼓
 サクラサク。門はリバーシブルですが 木村美映
 暗闇を叩くと次々咲く銀河 夏草ふぶき
 固結びしたら咲き始めた小指 夏草ふぶき
 いつ咲くのいつ咲くのとてウルサイナ… 吉田吹喜
 咲き切ったあと静かに見つめ合う 守田啓子
 無理するなんて失礼 花ですよ 吉田吹喜
 うす桃色の花ことばから先ず開花 きさらぎ彼句吾

梅の木で金子兜太が狂い咲く

ジョバンニもカムパネルラも咲いていた

咲けますか 児童相談所の 桜

燃えさかる燃料棒を茶毘に付す

散るのかな 右クリックが効きません

美しく清く正しく狂い咲く

【秀逸】

白鳥の汚れた白のように咲く S i n
 阿部定が私の中で咲いている S i n
 咀嚼した赤をしまっておく花瓶 土田雅子

【特選】

戸籍簿の空欄に咲くラフレシア むさし

* 巨大で悪臭を放つラフレシアが咲いているのが見えてきた。うまいとしか言いようがない。

宿題『労』

青森県弘前市

吉田吹喜選

【佳作】

A・Iもいつかくたびれるかもキレるかも
 企画書の焦げ目サザンの腕時計
 疲労骨折だったバラの切り口
 いたわりのつもりで肩に触れないで
 ご苦労なことだ氷を看取るとは
 疲労困憊キムの背中は茜色
 亭主関白も労組も絶滅危惧種だね
 ししとうの種には罪はありません
 疲労こんぱい竹輪の穴は健在か
 労組む馬鹿な男のためだけに
 過労気味ハッシュタグからメールする
 金属疲労キコキコキコと首の音
 結婚・離婚・再婚・離婚・死婚
 駅までは遠くてふわり焼く卵

きさらぎ彼句吾
 須藤しんのすけ
 土田雅子
 まみどり
 夏草ふぶき
 笹田隆志
 柳谷たかお
 まみどり
 まみどり
 北野岸柳
 笹田隆志
 石橋芳山
 田久保亜蘭
 まきこ

過労死と噂になったシクラメン
 労災認定きょうのおかずは何にする
 厚労省でシンクロナイズドスイミング
 疲労困憊雨漏りしてる後頭部
 石ころの死は過労死でした
 雨止んで一人ぼっちの下駄をはく

【五客】

まきこ
 葉 閑女
 小野五郎
 むさし
 S i n
 北野岸柳

ママごとの父はサービス残業中
 もういいんじゃないの忠犬ハチ公
 過労死じゃない カラスつて黒じゃない
 勤労感謝つばい街が消えていく
 くしゃくしゃばい いいね！そういう終わり方

【人位】
 過労死の手前で素潜りを止める

【地位】
 おでん鍋苦労話の真ん中に

【天位】
 もう逃げなくていいお祭りの金魚

石橋芳山
 城後朱美
 米山明日歌

*つかまったあとのホツとした感じが伝わります。

宿題『クイズ』

青森県青森市

葉 閑女選

【佳作】

ニワトリと卵決着ついているか
 なぞなぞはカーブクイズはストレート
 問1が解けないままにくる問2
 浦島太郎の父の名前を言いなさい
 在宅の看取りか酸素吸入か
 クロスワードクイズに仲裁してもらおう
 円周を走り回っているクイズ
 ハムレットの問いに吹雪かれっぱなし
 じいちゃんのクイズに昭和生きている
 なぞなぞをサメの頭が解いていく
 ブラックリストはクイズ形式でした
 一問も答えられない父のこと
 クイズ出すように突然反抗期
 モナ・リザの死ぬまで知られたくない秘密

村上あつこ
 村上あつこ
 熊谷冬鼓
 むさし
 土田雅子
 岩根彰子
 石橋芳山
 きさらぎ彼句吾
 城後朱美
 夏草ふぶき
 鳴海賢治
 米山明日歌
 柳谷たかお
 須藤しんのすけ

さてクイズですがと歴史折り曲げる
 それぞれの性器にそれぞれの禅問答
 半分はクイズになっている金庫
 例文を読んで求愛に答えよ
 待ち切れないねはやぶさIIの答え

【五客】

さよならをYに入れると解けるでしょ
 私からあなたを引いて残るもの
 なぞなぞにこたえて介護度が上がる
 クイズ王 家ではただのしもべです
 はいいいえ繰り返し返しては生きてきた

【人位】
 ダリの絵の砂漠の名前言いなさい

【地位】
 出て来い出て来い✓の中の雪だるま

【天位】
 なぞなぞの答えは五穀米である

守田啓子
 むさし
 月波与生
 吉田吹喜
 まきこ
 小野五郎
 むさし
 土田雅子

石橋芳山
 S i n
 田久保亜蘭
 須藤しんのすけ
 吉田吹喜

*言い切りが見事です。

宿題『自由詠』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

ゆつくりと干物になっていく途中
 なにひとつ変わらなかつた夫の死
 いい人と言われなくなり春二番
 ノクターンまずは暗号を解いてから
 ブランコの心拍数を上げてやる
 銀河系を飛び回ってる町工場
 蛇口から淫靡に水が垂れている
 花折峠に左心室にある亀裂
 白梅や一人芝居の白石加代子
 虐待か躰か止まぬ波の音
 毒に毒とことん吐いて二人居る
 どんな色塗つても白に還るのに
 トランプも車線変更下り坂
 鳥になる前に仮想通貨捨てた

まみどり
 城後朱美
 月波与生
 木村美映
 きさらぎ彼句吾
 柳谷たかお
 石橋芳山
 岩根彰子
 岩根彰子
 柳谷たかお
 まきこ
 村井規子
 村上あつこ
 田久保亜蘭

木屋町でサザエの肝に逃げられた
 マネキンの闇を探しているところ
 黒犀の感情線に赤を足す
 ポケットの中味は解けるものですか
 保釈金を払えないから塩海鼠
 深爪を悔いるものかと寒牡丹

【五客】
 獣から女に戻らない。なぜだ。
 骨爆発高齢者のいきどころ
 オーロラの吠えてる闇をナンパする
 いつも通りでいようあなたが乾くまで
 車椅子並ぶホストの控え室

【人位】
 まな板カタカタ四角いままの旅続く

【地位】
 靴がないだけで真つ暗闇である

【天位】
 青春の爪痕 顔の無い卒アル

* 痛痒いようなドラマ...

岩根彰子
 米山明日歌
 須藤しんのすけ
 鳴海賢治
 須藤しんのすけ
 葉 閑女
 む さ し
 坂本清乃
 笹田隆志
 きさらぎ彼句吾
 須藤しんのすけ
 土田雅子
 吉田吹喜
 土田雅子

順位	氏名	打率
1	まきこ	0.667
1	むさし	0.667
3	須藤しんのすけ	0.593
4	田久保亜蘭	0.519
5	守田啓子	0.500
5	夏草ふぶき	0.500
5	土田雅子	0.500
8	きさらぎ彼句吾	0.444
8	米山明日歌	0.444
8	石橋芳山	0.444
11	吉田吹喜	0.429
12	まみどり	0.407
13	奈良一艘	0.400
14	熊谷冬鼓	0.375
15	月波与生	0.370
15	岩根彰子	0.370
17	小野五郎	0.333
17	村上あつこ	0.333

打率【選句率】※規定投句数は最大可能投句数の50%

順位	氏名	本数
1	夏草ふぶき	5
2	土田雅子	4
3	まきこ	2
3	むさし	2
3	米山明日歌	2
6	岩根彰子	1
6	きさらぎ彼句吾	1
6	木村美映	1
6	熊谷冬鼓	1
6	須藤しんのすけ	1
6	鳴海賢治	1
6	まみどり	1
6	守田啓子	1
6	石橋芳山	1
6	吉田吹喜	1
6	小野五郎	1
6	城後朱美	1

本塁打【3点句数】

順位	氏名	打点
1	須藤しんのすけ	23
2	夏草ふぶき	22
3	まきこ	20
3	むさし	20
3	土田雅子	20
6	米山明日歌	19
7	きさらぎ彼句吾	18
7	守田啓子	18
9	田久保亜蘭	16
10	熊谷冬鼓	14
10	月波与生	14
10	岩根彰子	14
13	まみどり	13
14	吉田吹喜	12
15	城後朱美	11
16	鳴海賢治	10
16	小野五郎	10
16	石橋芳山	10
19	北野岸柳	9
19	村上あつこ	9
19	笹田隆志	9
22	奈良一艘	8
23	葉閑女	7
24	木村美映	6
25	渡邊こあき	4
25	坂本清乃	4
25	柳谷たかお	4
28	野沢省悟	3
29	Sin	2
30	村井規子	1

打点【総得点】

三冠王への道

【三冠王への道】本社句会宿題詠で、打率（抜句率）・打点（総得点）・本塁打（3点句の数）を競うもの。

―参加者募集―

「川柳吟行会 ぽ」

守田啓子

午前11時半。

吟行先は青森駅周辺。

この時期にしては珍しく気温が7℃。あたたかい小雨が降る中ダウンジャケットのフードを被り自宅から青森駅方面へと歩き始めた。

私は親しくしていた方が2週間ほど前に急逝しその喪失感をまだずっしりと引き摺っていた。

(特1佳3)

待合室スマホ一斉に春あらし 滋野さち

現代の日常の一コマを上手く表現している。静から動、そして季節もたつぷり感じさせて、今回の最高得点を獲得。

(特1佳1)

板状土偶の気道確保せよ 小野五郎

破調の効果か。気道の確保に必要な切迫感を醸し出す。そして板状土偶の息が吹き返す。技あり！

(佳3)

春つらら学生車輛に紛れ込む 熊谷冬鼓

気が付くと通学列車に。ほのぼのとした癒される一句。

(特)

トランクにりんごたてがみ鬘青いバラ 吉見恵子

りんご青森、鬘希望・飛躍、青いバラロマン、と大きな夢のある句。

「トランク」を車のトランクと読むか鞆と読むか…

開始時間に少し遅れて到着した笹田隆志さん。多方面で活動していらつしやる様子。スマホがいつも鳴り続けている。超多忙々。お疲れ様です。

階段を這って歩いて発芽する 笹田隆志

吟行を得意とし最高得点句を作り続けている絶好調の渡邊こあきさんが本日体調不良で欠席した。残念!!

すこし飛ばし過ぎ(歩き過ぎ)たようだ。

ここはすこし安静にして早く戻ってきていただきたい。(月刊おかしょうきに掲載される頃にはよくなっていることでしょう)

ベイブリッジは突発性股関節症である 守田啓子

このあといつものようにアウガ近くの居酒屋で反省会をした。このコーナーのサブタイトルをどうしようか?で盛り上がった。どうなるか…。

本日2019年2月20日(水)は第100回「読む会」であった。ここからだと思う。

作句と読みの両輪で「川柳吟行会 ぽ」はどこへ行く?♪ボクらに乗せてどこへ行く?♪進めえ〜!♪「川柳吟行会 ぽ」♪進めえ〜♪

十和田たてがみ川柳会2月句会

【一時】平成31年2月16日(土)

【一 所】十和田労働福祉会館

【出席者】漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・斉藤蛙井・瀧尻善英・福田芳詔・村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題 『せんべい』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】
 コーヒーに南部せんべい津軽あめ
 おやつには南部せんべい今ポテト
 せんべいで入歯老人顔ゆがむ
 新婚のせんべい布団温かく
 北国のソールフードがせんべいだ
 やつぱりさせんべい汁もうまいつきゃ
 せんべいの型に老舗の頑固な灯
 せんべいの耳がいつしか主役の座
 胡麻せんべい嘯むほど故郷の味が出る

漆館ミノリ
 久保あざみ
 福田 芳詔
 高田 幸柳
 久保あざみ
 漆館ミノリ
 瀧尻 善英
 高田 幸柳
 瀧尻 善英

メロドラマせんべいの数忘れさせ
 せんべいの温もりが輪を丸くする

【特選】

せんべいの耳に昔を聞いてみる

高田 幸柳
 木村奈生美
 村上 昌子

■席題 『せんべい』

瀧尻 善英 選

【平抜き】
 コーヒーに南部せんべい津軽あめ
 気が引けた稲造せんべい五千円
 おやつには南部せんべい今ポテト
 北国のソールフードがせんべいだ
 せんべいで故郷想う四畳半
 せんべいの耳に昔を聞いてみる
 せんべいの型に老舗の頑固な灯
 新婚のせんべい布団温かく
 追伸にせんべい送れと書いてみた
 メロドラマせんべいの数忘れさせ
 煮え過ぎたせんべい汁に愛零れ

【秀逸】
 忙中閑せんべいかじり一句吐く
 せんべいの温もりが輪を丸くする

【特選】

せんべいの耳がいつしか主役の座

齊藤 蛙井
 木村奈生美
 高田 幸柳

■宿題 『セクハラ』

高田 幸柳 選

【平抜き】

セクハラを受けて忍の字書いてみる
 枯尾花男尊女卑の節の数
 大臣が軽く発言子を産めと
 性差別首をもたげりやセクハラだあ
 セクハラと言えぬ昭和が遠くなり
 ボディコンで三段腹は許せない
 花の意地尊厳無視に紅を引く
 偉い人までもセクハラする悪意
 セクハラと言われて部下を誘えない
 セクハラを風に柳とする覚悟
 セクハラで失脚またも文春砲
 セクハラと言う厄介な世代間

齊藤 蛙井
 村上 昌子
 漆館ミノリ
 福田 芳詔
 城後 朱美
 久保あざみ
 村上 昌子
 木村奈生美
 城後 朱美
 齊藤 蛙井
 瀧尻 善英
 木村奈生美

【秀逸】

セクハラの壁乗り越えて女性議員
 セクハラの不覚に乗った騙し舟

瀧尻 善英
 木村奈生美

【特選】

セクハラハードル徐々に高くなり

瀧尻 善英

■宿題 『世界』

木村奈生美 選

【平抜き】

新雪の足跡すべて我が世界
 核発射危機の世界だ二分前
 世界一目指す孤独なアスリート
 テロリスト平和な世界に穴あける
 デコボコの世界を包む愛がある
 北のドン世界遺産に意欲見せ
 年金の世界の株も浮き沈み
 父母は戦争になり世界知る
 許すまい子育てにみる 闇世界
 貧富の差塗り分けられる世界地図
 リーダーの一言 世界中ゆらぐ
 車いす深く座れば銀世界

漆館ミノリ
 磯島 雅男
 城後 朱美
 齊藤 蛙井
 高田 幸柳
 高田 幸柳
 高田 幸柳
 磯島 雅男
 久保あざみ
 福田 芳詔
 瀧尻 善英
 瀧尻 善英
 磯島 雅男

【秀逸】

ワクワクと夢のライフは別世界
 思いやる心が世界の手を結ぶ

村上 昌子
 瀧尻 善英

【特選】

大好きなママは世界に一人だけ

城後 朱美

□ 2019.05.03 第26回金木桜まつり川柳大会

【日時】平成31年5月3日(金)受付9:30・席題発表10:00・投句締切11:00【会場】芦野公園自然休養村管理センター2階 0173(52)2262 津軽鉄道芦野公園駅より徒歩3分【会費】¥4,000(昼食・懇親会・発表誌)【宿題】(各題2句詠・共選)(一部選者交渉中)『広』佐藤ぶんじ・山野茶花子『羽』福士慕情・菊池京『目』三浦蒼鬼・工藤まさひろ『強』熊谷冬鼓・太田久【席題】(2句詠・共選)「印象吟」北山まみどり・千島鉄男【岸柳杯】(1句)「もん」むさし【賞】宿・席題・北野岸柳杯共特選・準特選を懸賞【主催】金木川柳の会【共催】金木桜まつり実行委員会【後援】五所川原市・五所川原市教育委員会【連絡・問合せ先】090(7334)7297 (成田我楽)

□ 2019.06.30 第61回「不浪人賞」第49回「年度賞」候補句募集

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟日より(結果)の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください(不浪人賞・年度賞一位に呈賞)【大賞作品】平成30年1月～12月に発表された作品「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可(2賞への同一句の応募は不可)【応募用紙】所定用紙またはA4の用紙を使用し楷書で不浪人賞(3句)と年度賞(5句)を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を(集計上の為)記入ください【締切】平成31年6月30日(当日消印有効・平成は新年号に変わります)【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島雉子森33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】★不浪人賞(6名)渡辺梢(埼玉)・赤松ますみ(大阪)・鎌田京子(宮城)・新家完司(鳥取)・島田駱舟(千葉)・野沢省悟(青森)★年度賞(10名)長谷川酔月(秋田)・佐藤岳俊(岩手)・雫石隆子(宮城)・山口まもる(山形)・三浦哲夫(福島)・千島鉄男・むさし・工藤青夏・笹田かなえ・田鎖晴天【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 ☎080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟【協賛】青森県川柳社

□ 2019.07.21 川柳ゼミ「青い実の会」二十周年記念大会

【日時】平成31年7月21日(日)受付11:30・席題発表12:00【会場】青森国際ホテル2階「春秋の間」青森市新町1-6-18 017(722)4321 青森駅より徒歩3分【会費】¥4,500(懇親会・大会誌含む)【宿題】(各題2句詠・共選・字結び可)『天』福士慕情・むさし『静』沢田百合子・豊巻つくし『歩』太田久・千島鉄男【席題】(2句詠・共選・字結び可)「 」岩崎眞里子・高瀬霜石【特別選】(2句)「扉」杉山昌善(川柳作家・脚本家)【大会事務局】030-0962 青森市佃3-3-19 田沢恒坊 TEL・FAX:017-741-9215

十和田たてがみ川柳会4月句会

【時】4月20日(土)午前10時00分から【所】十和田労働福祉会館【宿題】(各題三句詠)『たぐん』高田幸柳選／『滝』木村奈生美選【互選】(二句詠)『大吉』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入)【席題】一題(三句詠・共選)／選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳

■宿題「節約」

互選

- | | |
|---------------------|-------|
| ④節約が悲しい程に身について | 漆館ミノリ |
| ②貧しさの底にいるのに節約だ | 斉藤 蛙井 |
| ②つけっぱなしのトイレを照らす百ワット | 高田 幸柳 |
| ②手作業で支出押さえる主婦の意地 | 木村奈生美 |
| ②節電へみんなが耐えている日本 | 瀧尻 善英 |
| ①節約とケチの狭間で行き詰る | 斉藤 蛙井 |
| ①節約を強いて爆買する兵器 | 村上 昌子 |
| ①節約を口癖にする大富豪 | 高田 幸柳 |
| ①節約の暮らしが呉れた生きる知恵 | 木村奈生美 |



川柳作品をお待ちしております。

■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日／【賞】秀逸には図書カードを贈呈



川柳作品をお待ちしております。

■題「自由詠」Sin選

ハガキの表に「川柳」と明記し、ハガキ裏に作品(何句でも)、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、下記までお送り下さい。

【投句先】メール：tky.aomori@mbx.mainichi.co.jp 「毎日新聞・川柳」係
ハガキ：〒030-0803 青森市安方2-8-10
毎日新聞青森支局「毎日新聞・川柳」係まで

【掲載】毎週金曜日掲載

【賞】月間賞、年間賞には図書カードを贈呈

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2019.04.06 おかじょうき川柳社本社 4 月句会

【時】4月6日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【宿題】(各題3句詠)『輪』/『ケース』/『自由詠』選者は当日決定【席題】1題3句詠・2人共選/席題の欠席投句拝辞【研究吟】自由詠1句【投句締切】句会前日必着【投句先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>

□ 2019.04.15 〆 FM青森チャレンジ川柳!むさし流!

毎週土曜日お昼12時から放送中! 入選→秀逸→特選と毎週3句を紹介。4月15日締切。5月放送【題】「撫でる」【投句先】〒030-0812 青森市堤町1丁目7-19 (株)エフエム青森 チャレンジ川柳!むさし流!係 ※FM青森のホームページからも投句できます。FAX:017-735-1186もOKです。

□ 2019.04.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(6月号分)

【締切】4月20日必着【掲載】6/10発行号【提出先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>

□ 2019.05.04 おかじょうき川柳社本社 5 月句会

【時】5月4日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【宿題】(各題3句詠)『有』/『コピー』/『自由詠』選者は当日決定【席題】1題3句詠・2人共選/席題の欠席投句拝辞【研究吟】自由詠1句【投句締切】句会前日必着【投句先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>

エッセイをください!

内容は自由、字数800字程度(用紙は自由・メール投稿歓迎)で締め切りは毎月15日。なお、いただいたエッセイを掲載するかしないか、掲載する順序などは編集者が判断しますのであらかじめご了承ください。

送付先: 〒039-3502 青森市久栗坂浜田87-2 熊谷方
おかじょうき川柳社 エッセイ係
toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

※この用紙を切り取るか、コピーしてお使いください。

会員雑詠「無人駅」投句用紙

柳号

住所

府 都 道
県

町 区 市
村

※楷書でハッキリとお書きください。

★お気に入りの一句(最新号からお好きな作品一句と、それに対する簡単なコメントをお書きください。)

コメント

【投句先】
〒030-0861
青森市長島4-23-4-102
守田啓子 宛
FAX.017-723-5696

■会費拝受（2月受付分） ※太字は新会員

木村美映（青森市）/ 久保あざみ・漆館ミノリ（十和田市）/ 北野岸柳（外ヶ浜町）/ **村井隆行**（滋賀県）
/ 山内もとこ・能田勝利（愛媛県）

■おかげょうき川柳社 会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 FAX.017-723-5696

..... 終着駅 Sin

◆本号が平成最後の「月刊おかげょうき」となる。だからどうしたという感じだが（笑）
◆前号でも触れたが、現在、川柳Z賞のデータ化の作業を進めている。現在はまだ、文字をデータ化していく作業中なのだが、当時の選評を読み進めていくと、賞が大きくなるにつれ、選に苦しんだという言葉が選者から漏れ始めてくる。他の文学賞のように一次選、二次選での選考だったものが、一次選のみになり、募集作品も50句一組だったものが、30句一組に途中で変更されている。事務局に様々な意見が寄せられる中で、賞をブラッシュアップしていった流れが、とても興味深い◆表面には出てきていないが、最後まで賛否の議論がなされていたのが、記名・無

記名の部分である。募集作品がその年の発表作品であればOKだったため、無記名だとしても誰の作品群なのかがバれてしまう以上、無記名にしても意味がないという意見と、選者の選考バイアスが無意識であっても、長年入賞している作家への功労賞的な選考ではないかという批判は、事務局の手伝いをしていた私にも聞こえていたほどである◆ただ、それでも、「Z賞」という枠組みによって、数多くの才能がその後、川柳界を引っ張っていったのも事実である◆各方面への承諾がこれから必要だが、おかげょうき川柳社70周年の記念事業として、「Z賞」を一年限りで復活させてみたいなぁと検討を始めている。なんか、ワクワクしませんか??◆Sin

